

三並小学校は夜須高原の南麓の豊かな田園風景に囲まれた、桜等の樹木が多い歴史が長い小学校です。今回の対象者は総勢 8 名の 5 年生、許された時間が 60 分ということで、我々 2 名と県職員 1 名の自己紹介の後、直ちに藤棚横の草地にて「蝙蝠と蛾」を 5 年生 8 名 + 担任、+ 3 名で行いました。蝙蝠 1 名、蛾 3 名を出す壁要員は 8 名ということで、どうにかゲームを行えました。時間が短いため慌ただしくゲームの振り返りを行い、次は中庭の草がほとんどない植栽部を利用した、カムフラージュです。教頭先生も参加しての人工物認識ゲームは結構難しかったようで、3 回トライしても殆どの人が 80% 程度の認識でした。「食う・食われる自然界」の中での擬態等について説明を行い慌ただしく振り返りを行いました。最後は森林の恵みについて、イラスト図を参考に子供達から積極的な発表を頂きました。あっという間に終わった楽しい 1 時間でした。

スタッフ：千種、陣内（報告：陣内）



